

■ 編集後記 ■

日本通訳翻訳学会 (JAITS) の「翻訳研究育成プロジェクト」による、ウェブ版『翻訳研究への招待』13号をお届けします。刊行予定は4月末日でしたが、事情により少し遅れてしまったことをお詫び申し上げます。なお、日本通訳翻訳学会の年度の切り替わりが9月末であることから、次号14号より締め切りを、2月末日(従来通り)と8月1日(従来は8月末日)の年2回とさせていただきますことになりました。JAITS 学会誌『通訳翻訳研究』の投稿締切も8月1日ですので、お間違えのないよう、ふるってご投稿をお願いいたします。

前号の編集後記で、翻訳研究は実に多様な側面をもっており、本誌も特集企画で充実をはかっていきたいと書きましたが、その願いどおり、次号14号で特集企画を組むこととなりました。21世紀から始まったと言われる日本の Translation Studies を振り返り、学問的に非常に実りあるものとされている1970年代において、日本における翻訳研究の姿はどのようなものだったのか、検証・考察する試みであり、英米文学翻訳、村上春樹など、さまざまな分野からの投稿によって構成される予定です。このほかにも、別の特集企画の提案も寄せられており、さらなる盛り上がりが見込まれます。ご意見・企画などありましたら tanabe@mail.kobe-c.ac.jp までぜひお寄せください。

なお、14号は特集企画のみでなく、一般の投稿も従来どおり募集いたします。投稿の締切は2015年8月1日、刊行は2015年9月末を予定しております。ふるってご投稿をお願いいたします。また本プロジェクトの中長期的活動目標として、「翻訳論アンソロジー現代日本編」「翻訳論アンソロジー外国編」「翻訳関連文献集成」があります。これは言語を問いませんので、英日以外の言語を専門とする方も、ぜひ積極的にご参加ください。

2015年5月4日

『翻訳研究への招待』編集委員会